

NPO法人「ハートフル」理事長

桜井 宏子さん 50

— 福祉に関心を持ったきっかけは。

父方のいとこに同じ年の知的障害者がいて、保育園から中学まで一緒に通っていました。彼からSOSがあった時には飛んでいっ

て、世話をしていました。母方にも全盲の祖母がいま

した。私はこの祖母が大好きだったので、春に花が咲いたときには持って行って、その香りを楽しませてあげたりしました。

— そういった環境で学んだことは何ですか。

常に弱者の立場で考えるんです。その姿勢を学びました。どうしたら皆と一緒に仲良く過ごせるのか、自然に考えるようになったと思います。その考えはずっと変わらず、ハートフルの活動でも基本の人には、1

「弱者の立場」を学ぶ



となっています。

— すいぶんしつかりした子供だったんですね。

いいえ。引っ込み思案で、それは今も変わらないんです。

— でも、今では高崎を代表する福祉系NPO法人の陣頭指揮をとっていますね。講演なども多くこなされているようですが。

何か人の役に立つために、社会を良くするために必要であれば頑張っただけです。

— その悩みとは。

80度変わったねと驚かれます。

— NPO法人の運営は苦勞も多いのでは。

資金繰りから事務所や作業場の確保、人手不足など難問ばかりで、すべて解決したわけではありません。

特に行政とのかわりでは悩みも多いです。

— その悩みとは。

NPOの活動に理解がない場合も多く、風当たりの強さや圧力を感じることがあります。

— 上っ面ではやってもらいたくない。本当に心からの態度かどうかは、(寝たきりなど) どんな状態の人でも分かります。自分を中心に考えていると、行き詰まります。

わたしと学ぶ

あります。古 いしがらみにとらわれないで、より良い発想とエネルギーを持ち合わせているNPOの存在をもっと知ってもらいたい。偏見を持って権力を振るってばかりでは良い社会は築けません。ハード面でバックアップして、追い風役になってほしいんです。そうでない、と群馬県はどんどん立ち遅れてしまふ。

— 福祉の現場にいる、あるいは目指している若者にアドバイスを。

上っ面ではやってもらいたくない。本当に心からの態度かどうかは、(寝たきりなど) どんな状態の人でも分かります。自分を中心に考えていると、行き詰まります。

— 上っ面ではやってもらいたくない。本当に心からの態度かどうかは、(寝たきりなど) どんな状態の人でも分かります。自分を中心に考えていると、行き詰まります。

略歴

さくらい・ひろこ ホームヘルパーを経て、1999年に「ハートフル」(高崎市石原町)を設立。介護保険事業のほか、配食

サービスや育児支援、草むしりから犬の散歩まで、行政の手の届かない事業を請け負っている。群馬NPO協議会副会長。

学ぶ はびこる

群馬

(毎週土曜日掲載)

章 藤生正久氏(元教塚本町
議会議員、教塚本町教塚一
月五日死去) 従六位瑞宝双光